



豪雨に襲われ、あちこちで大きな被害の出た今年の夏でした。イギリスでも日本でも気候の変動が激しいようですね。さて、TRAUBEN 最大のイベント、イギリス館コンサートが今年は開催できなくなりました。伊都さんもギリギリまで苦慮した上での決断だったようですが、こればかりは…。遠く海外で暮らす困難は、やはりいろいろと起こってきますね。次回の 12 月恒例のコンサートを楽しみに待ちましょう！

近況報告

猛暑になるとの予報とは裏腹に、夏とは名ばかりの、8 月に 30 度を超える真夏日は片手で数えるほどしかなかった今年のイギリスの夏、なんと 8 月半ばには最低気温が 10 度を切ったためセントラルヒーティングが仕事を始め、普段はポーカフェイスの BBC のアナウンサーの顔も悲壮感が漂いました。9 月に入り、すでに落ち葉掃除の車が毎朝顔を見せています。

そして今月半ば、スコットランド人の悲願、スコットランド独立の是非が問われる選挙に沸くイギリスは、内閣改造によって親日家の内相が辞任、EU 脱退の声も大きく、イスラムの過激派のジハードへの警戒からテロ警戒レベルがアップするなど(話題のジャーナリスト殺害の実行犯は英国国籍で、刺激を求めている日突然ジハード参加を目的に海をわたる若者は増える一方だそうです)ますます私たち外国人への規制が激しくなる様相で、ビザの問題も厳しく、恒例のイギリス館コンサートを断念せざるを得なくなっていました。

いつも応援くださっている皆様に演奏をお届けすることができず、大変申し訳ありません。年末のみなとみらいのリサイタルでは、このイギリス館の分もあわせて、精一杯の演奏ができればと思っておりますので、演奏を聴いていただければ幸いです。

【伊都】

イギリス館コンサート中止のお知らせ

前号で予告しましたイギリス館コンサートは、上記のような理由で今年度の開催は見送ることになりました。謹んでお詫び申し上げます。後援会会員の皆様におかれましては、楽しみにお待ち頂いていたことと存じますが、ご理解いただきたく、宜しくお願い申し上げます。

PHOTO ALBUM

伊都さんのカメラを通して見るロンドンの様子、ミニアルバムでお届けします！



故ダイアナ妃が愛したケンジントン宮殿の庭(ウィリアム王子夫妻が居住予定)

国内外からクラシックファンが詰めかけるロンドンの夏の音楽祭典「プロムス」が行われる円形劇場、ロイヤルアルバートホールにてバレエ「ロミオとジュリエット」が上演された際、最初の市場のシーン



ケンジントンガーデンでバラ園に続くアーケード



メリーポピンズのベンチとセントポール寺院(現在、絵本のベンチが市内各所に置かれるイベント中です)



ミステリーサークルで有名な村願いのかなう木の下にて皆願い事を書いて七夕のようにつるして帰ります



いとちゃんの クラシック講座

op.20

「レ・ミゼラブルとモーツァルト」

ロンドンといえば、ブロードウェイと並ぶミュージカルの本場、ウェストエンドと呼ばれる劇場街にところせましと並ぶミュージカルの看板を見るだけでも、ミュージカル好きの私は興奮してしまい、時間がある日にはその日の朝に売りに出されるディスカウントチケットを見に行くのが、楽しみの一つなのですが、ほぼすべてのミュージカルを制覇した中で、ミュージカルは明るい場面がないと！という信条上、なんとなく暗いイメージのレ・ミゼラブルだけは見ていませんでした。

ところが先日、チケット売り場でめったに出ない特等席が10分の1の値段で売りに出され、大のミュージカルファンのオペラ指揮者の友人から、音楽の使いまわし方がすごい、との話を聞いたばかりだったので、見に行くことにしました。その友人曰く、レ・ミゼの音楽はたった2、3のメロディーを全編を通して使いまわして、それで3時間持たせるなんて、モーツァルトもびっくりだ！とのことなので、音楽に注目したところ、なるほどその通り、これあの最初の場面で使ってたものを調を変え、編成を変えて使ってる！ということが多く（なので頭に入ってきやすく、頭に残ります）そしてその使い方が実に巧妙で、注目しなければわからないという、モーツァルトもよくオペラの中で使っているやり方を駆使しており、特に超名曲揃いというわけではないレ・ミゼがこれほどロングランを続けている理由がわかったような気がしました。2年前の映画はオリジナル音楽ですので、もしご覧になる機会があったら、ちょっと注目してみるのも一興かもしれません。

【伊都】

第12回 加納伊都ヴァイオリンリサイタル

2014年12月22日（月） 18:30 開場 19:00 開演
横浜みなとみらいホール 小ホール

今年は貴重な伊都さんのコンサート、祝日の前夜で出かけやすい日程です。
11月初旬頃、ご案内をお送りします。



DVD Classic Collection

作品 No.20
1937 年アメリカ

「オーケストラの少女」
古き良き時代の大ヒット作品



あらすじ

失業中のトロンボーン奏者の娘パッツィは、気まぐれな富豪フロスト夫人の口約束を信じて仕事のない楽士ばかりのオーケストラを結成。フロスト氏は、著名な音楽家を出演させればオーケストラのスポンサーになると、到底無理な条件を出した。パッツィはコンサートホールにもぐりこんで、世界的な名指揮者レオポルド・ストコフスキーに失業楽団の指揮を頼むのだが…。

見どころ

当時人気のスター指揮者だったストコフスキーが、常任指揮者を務めるフィラデルフィア管弦楽団とともに、台詞付きで初めて映画に出演したことで大きな話題となり、世界中で大ヒットを記録した作品。主役の15歳の少女、ディアナ・ダービン、吹き替えなしの見事な歌唱力。チャイコフスキー：交響曲第5番、リスト：ハンガリー狂詩曲など名曲も楽しめる。

感想

古き良きコメディタッチのハートフルなアメリカ映画のクラシック音楽バージョン？でも音楽と歌が本物であるところが、ひと味違う。主役の少女は元気でひたむき、前向きであきらめない…ひと昔前の少女漫画のヒロインのようだ。（いや、少女漫画の方がアメリカ映画を真似したのだろう。）単純なストーリーとモノクロの画面が相まって、ほのぼのとした心温まる映画。

*DVDはTSUTAYAの店舗でレンタル可能な作品のみをご紹介します

編集後記 イギリスはテロ警戒以前から、ビザ取得や入国審査が非常に厳しいので有名だそうです。特にビザ取得は、社会保障に頼らずとも確かな生活ができる証明が必要という意味で、年々厳しくなっています。前労働党政権が経済促進のため過去10数年で400万人もの移民を受け入れた結果、ロンドンの人口の半数以上が移民となり、多くの問題を抱えることになりました。その為、政府はEU地域以外からの就学や就労を厳しく制限せざるを得なくなりました。そのツケが純粋に音楽を志す若者に回ってくるのはちょっと理不尽な気がします…

〈ゆ〉

発行：加納伊都後援会 TRAUBEN
〒231-0835 横浜市中区根岸加曽台15
TEL：045-622-6780
FAX：045-621-6423
Email：trauben@itokanoh.com
Homepage：itokanoh.com